



イメージマップ

画像やオブジェクトに複数の領域を指定し、各領域にリンクを設定したり、プログラム実行などが指定できる。

クライアントサイド・イメージマップ

ユーザーのPC上で実行される。主にリンクなど

サーバーサイド・イメージマップ

サーバーに用意されたプログラムに送信。CGI、PHP、JAVAなどのプログラム。

イメージマップ使用の推奨は、クライアントサイド・イメージマップとして規定

map (イメージマップを定義 ブロック要素)

タグ記述

開始タグ：<map>

終了タグ：</map>

属性

【name】 イメージマップ名の指定。旧HTML用。XHTML1.1では使用不可。必須属性。

【id】 イメージマップ名の指定。XHTML用。必須属性。

【class】 【title】 【lang】 【dir】 【xml:lang】

area (イメージマップの領域を設定 インライン要素)

タグ記述

<area />

属性

【href="URI"】 クリックしたURLを指定。

【alt="代替テキスト"】 領域に対応した代替テキストの指定。

【shaps="領域形状"】 領域の形状を指定。

- default 画像全体
- rect 四角形
- circle 円形
- poly 多角形

【coods="座標"】 領域の座標（画像の左上を基点）半角カンマ区切り指定。

- rect coods="左上X座標, 左上Y座標, 右下X座標, 右下Y座標"
- circle coods="中心のX座標, 中心のY座標, 半径"
- poly coods="1番目の角のX座標, 1番目の角のY座標, 2番目の角のX座標, 2番目の角のY座標,"

1番目の角の座標と最後の角の座標は同じでなければならない。

1番目から始まり、1番目で終わる。多角形を閉じる。

【nohref="nohref"】 領域にリンクがない場合に使用。

【tabindex】 【accesskey】 【id】 【class】 【title】 【lang】 【dir】 【xml:lang】

img（画像の指定 **インライン要素**）

map要素を使用した場合、img要素でイメージマップを指定時、以下の属性を加える。

【usemap="#識別子"】 #を最初に記述し、map要素のid名を識別子として記述。 **必須**

イメージマップの記述

```
<div>
  <object data="/image.gif" type="image/gif" title="イメージマップの最適な記述" id="#links">
    <map name="links" id="links">
      このサイトについて：
```

ヘルプ

 著作権

 お問い合わせ

</map>

</object>

</div>